

広報

# だいにこ

花と緑と若者の住む 互いに支え合う心豊かなまち

# DAIGO TOWN

Public Relations Magazine

2010 **11** November

- ②……………子育て支援日本一のまち
- ④……………大子町健全化判断比率及び資金不足比率を公表します
- ⑥……………ニュースだいで
- ⑩……………保健コーナー
- ⑫……………フォトだいで



出動！ドクターヘリ

## NO.627

発行/大子町役場 総務課

〒319-3526 久慈郡大子町大字大子866番地  
☎0295-72-1111 (代)/0295-72-1114 (直通)  
Fax/0295-72-1167  
E-mail / soumu@town.daigo.ibaraki.jp  
<http://www.town.daigo.ibaraki.jp/>

# 大子町の子育て支援をご紹介します

## 住環境

- 子育て支援住宅の建設
- 子育て世帯に対する町営住宅使用料の軽減



これらの子育て支援は、年々高まる高齢化率と平成18年から3年連続で年間の出生者数が90人台であるという現状を踏まえ、「住んでよかった」「住んでみたい」と言われる、魅力ある子育て支援を実施することにより、**若者の定住や町外からの転入の促進**を図るためのものです。

### ▼入所基準

お子さん、保護者ともに大子町にお住まいで、保護者が次のいずれかの事情で保育に困っている家庭のお子さんです。ただし、**家庭内に保育のできる方がいる場合は、入所の対象になりません。**

- ① 昼間、常に労働している場合（家庭外労働、自営業、農林業、内職など）
- ② 妊娠中又は出産後間がない場合（入所期間は、原則、出産予定日前2か月から後2か月までです。）
- ③ 病気、けが又は精神若しくは身体に障害を有している場合
- ④ 長期にわたり家庭内の親族を看護している場合
- ⑤ 火災、風水害、震災などの災害の復旧に当たっている場合
- ⑥ その他お子さんを保育できない特別な事情がある場合

◇私立 だいが保育園

育所

### ▼募集保育所

◇公立 頃藤保育所、小生瀬保育所、池田保育所、西保

平成23年4月から保育所に入所を希望される方は、次により申し込んでください。  
なお、保育料は、子育て世帯に対する経済的支援の一環として、本年10月から無料となりました。



# 子育て支援日本一のまち

町はこれまで、妊婦健診や学校給食費の無料化、子育て支援住宅の建設や家賃の減額措置など子育て世代の経済的負担を軽減する様々な取り組みを進めています。また、今年10月1日からは、保育所の保育料、幼稚園の授業料・給食費の無料化と中学生までの医療費の無料化を実施したことにより、妊娠から義務教育が終了するまでの子育てに関する経済的支援の枠組みが整いましたので、ご紹介します。

## 健康・医療

- 医療費の無料化（妊産婦及び中学3年生まで）
- 子宮頸がんワクチン接種費用の無料化



## 保育・義務教育

- 学校給食費の無料化
- 子育て支援センター機能の強化
- 放課後児童クラブの開設
- 放課後児童あずかり事業
- 放課後子ども教室の実施
- 障害児あずかり事業の実施
- 子育て相談支援センター事業の実施
- 病児病後児保育の実施
- 保育所保育料の無料化
- 幼稚園授業料・給食費の無料化

### ▼ 申込期間

10月20日（水）～11月5日（金）（土・日曜日、祝日を除く）

各日 8:30～17:30

### ▼ 申込方法

入所申込書を福祉課に提出してください。その際に、お子さんの簡単な面接を行いますので同伴してください。

入所申込書と入所案内は、福祉課と各保育所に設置してあります。

### 育児休業明け入所予約制度

平成23年度中に職場復帰を予定している保護者の方に、安心して育児休業をお取りいただくために、復職月からの入所をあらかじめ予約できる制度です。募集要件等は、右記と同じです。

また、妊娠中の方の仮申込も受け付けていますので、詳しくはお問い合わせください。

### ▼ 対象者（次のすべての要件を満たす方に限ります。）

- ① 申込児童及び保護者が町内にお住まいであること。
- ② 保護者が、育児・介護休業法等の法律に基づく育児休業を取得し、復職月からの入所を希望する方

#### ◇ 公立保育所を希望する場合

保護者が、申込児童が1歳になる誕生日の前日又はそれ以降まで、育児休業を取得すること。

#### ◇ だいが保育園を希望する場合

保護者が、申込児童が生後6か月になる日の前日又はそれ以降まで、育児休業を取得すること。

- ③ 保護者が、育児休業前と同様の勤務に復職するため、保育を必要とする児童であること。

■ 申込み・問合せ／福祉課社会福祉G (72) 1117

平成  
21年度

# 大子町健全化判断比率 及び資金不足比率を公表します

地方公共団体の財政の健全化に関する法律が平成19年に制定され、地方公共団体は、毎年度、実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率及び将来負担比率の4つの比率からなる健全化判断比率並びに公営企業の資金不足比率を議会に報告し、公表することとされています。

この法律に基づき、本町におきましても、平成21年度健全化判断比率及び資金不足比率を算定しましたので次のとおり公表します。

いずれの項目も基準以下で、財政は『健全』と判断されます。

## 1 健全化判断比率

(単位：%)

区分	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
大子町の財政健全化判断比率	-	-	13.5	113.5
早期健全化基準	14.41	19.41	25.0	350.0
財政再生基準	20.00	40.00	35.0	

- ※1 実質赤字比率とは、一般会計等を対象とした実質赤字額の標準財政規模に対する比率です。
- ※2 連結実質赤字比率とは、全会計を対象とした実質赤字額又は資金不足額の標準財政規模に対する比率です。
- ※3 実質公債費比率とは、一般会計等が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模に対する比率です。
- ※4 将来負担比率とは、一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率です。
- ※5 標準財政規模とは、地方公共団体が通常水準の行政活動を行う上で必要な一般財源の規模です。

- 大子町に実質赤字額及び連結実質赤字額はありませんでした。
- 実質公債費比率及び将来負担比率は、どちらも基準を下回っています。また、昨年度に比べ実質公債費比率が1.7ポイント(H20:15.2%)、将来負担比率が13.4ポイント(H20:126.9%)減少しました。これは、起債借入額の抑制や繰上償還の実施により公債費が減少したことや人件費を削減したことなどが要因として挙げられます。

## 【参考】

### 大子町近隣市町村の健全化判断比率の状況

県内16位	実質公債費比率 ※早期健全化基準25%	県内18位	将来負担比率 ※早期健全化基準350%
城里町	17.0	高萩市	187.1
北茨城市	15.0	城里町	158.6
常陸大宮市	14.9	水戸市	151.2
大子町	13.5	北茨城市	121.3
那珂市	13.5	常陸大宮市	116.7
高萩市	13.0	大子町	113.5
水戸市	12.8	那珂市	98.5
常陸太田市	12.6	常陸太田市	64.4
日立市	6.6	日立市	12.9
東海村	3.0	東海村	-

【県内最高】18.7  
【県内最低】3.0

【県内最高】187.1  
【県内最低】-

※指標上好ましくない方からの順位です。

## 2 資金不足比率

区分	水道事業会計	浄化槽整備事業特別会計	下水道事業特別会計
大子町の資金不足比率	-	-	-
経営健全化基準	20.00	20.00	20.00

※資金不足比率とは、公営企業会計を対象とした資金不足額の事業規模に対する比率です。

- 本町が経営する3特別会計(水道事業会計、浄化槽整備事業特別会計、下水道事業特別会計)に資金不足額は生じませんでした。

# 第3次行政改革の取組状況

## 推進期間（平成17年度～平成21年度）

町では、平成17年度に策定した「第3次行政改革推進大綱」に基づき、行政改革を推進してまいりましたが、この度、推進期間が終了しましたので、その取組状況について、次のとおりご報告いたします。

**累積財政効果額 約26億7,100万円**

(単位：千円)

推進項目	取組数	財政効果額	具体的取組内容
事務事業の見直し	19	213,772	学校給食センターの調理業務の嘱託職員化、庁舎清掃の民間委託、指定管理者制度の導入、納税奨励金の見直し など
組織機構の改革	3	—	課及び係の統廃合、グループ制の導入 など
定員及び給与等の適正化	6	1,881,762	職員数の削減、時間外勤務手当等の削減、特殊勤務手当の見直し、技能労務職給与表の改正 など
歳入の確保	4	575,531	県税務職員の併任制度、茨城租税債権管理機構への徴収委託、収納対策室の設置 など
計	32	2,671,065	

### 職員数の削減

(単位：人、%)

区分	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
職員数	341	326	315	303	293	288
削減数	—	15	26 (11)	38 (12)	48 (10)	53 (5)
削減率	—	4.4	7.6 (3.3)	11.1 (3.8)	14.1 (3.3)	15.5 (1.7)

※各年度の職員数は、その年度の年度当初の職員数

※削減率は、小数点第2位四捨五入

※( ) カッコ内の数値は、対前年度に対する削減数及び削減率

**厳しい財政状況において、第5次総合計画の実現に向け、  
今後は第4次行政改革大綱を策定し、行政改革に取り組んでまいります。**

■総務課総務G ☎72-1114

## 少年の主張茨城県大会

9月25日(土)に、まいん文化ホールで平成22年度少年の主張茨城県大会が開催されました。

この大会は、中学生が、日常生活の中で感じたことや考えていることを広く社会に訴えることで将来に向かっての自信と誇りを抱き、またより深く他者や社会との関わりについて考えることを目的に1979年から開催されています。

32回目を迎えた今年の大会は、県内で22、124人(参加校・136校)が参加し、その中から選ばれた9人の発表者が登壇しました。

大子町からは、「美しい町」を発表した石井美奈さん(大子中学校2年)と「日本の農業を見直そう」を発表した鈴木美帆さん(大子西中学校2年)の2人が出場し、素晴らしい発表をした結果、鈴木美帆さんが、最優秀者に贈られる茨城県知事賞の栄冠に輝き、また、石井美奈さんには優秀賞が贈られました。

鈴木さんの作品は、全国大会の関東・甲信越静岡ブロック審査に茨城県代表として推薦され、ブロック審査で代表に選ばれると、11月に行われる全国大会に出場することになります。



## 敬老祝品配布



大子町では、敬老祝事業として、77歳以上の方に祝品等を贈り長寿を祝っています。

今年度の対象者(昭和9年3月31日以前生まれの方)は4、123人で、各地区の区長を通じて敬老祝品が贈られました。

また88歳(米寿)になられた152人、100歳以上の11人の方には、9月17日(金)に綿引町長、町職員が敬老祝品をお届けしました。ますますお健やかにお過ごしください。

## 防災ヘリ・ドクターヘリ合同訓練

9月22日(水)に広域公園で茨城県防災ヘリとドクターヘリの合同連携訓練が開催されました。

今回は、山岳救助を想定し、防災ヘリによる救助からドクターヘリへの引継ぎと救急搬送についての連携が確認されました。

本年7月1日から運用を開始したドクターヘリは、県内で44回(9月末現在)運航しており、町からは8回の出動要請をしました。ドクターヘリの運航は、その機動性を生かした迅速な対応により、救命率の向上や後遺障害の軽減の実現に役立っています。



## まちづくり講演会

9月29日(水)に、まいん文化ホールで筑波大学大学院教授の吉武博通氏によるまちづくりをテーマとした講演会が開催され、「日本の社会と大子町の将来を考える」を演題に、大子町の将来について講演していただきました。



## 第3回エコライフin大子



9月19日(日)に、第3回「エコライフin大子2010」が、まいんを会場に開催され、常陸大宮市在住のアントニー・F・F・ボーイズ氏による「森と低エネルギー生活」の講演やガラス砂絵作り体験が行われました。

2500名を超える来場者からは、「環境問題への関心が高まった。」「自分でもできることからエコに取り組みたい。」「といった感想が寄せられました。

## 教育委員の任命

9月1日に開会した第3回大子町議会定例会において、9月19日をもって任期満了を迎える大子町教育委員会委員の出村尚英さんが議会の同意を得て再任され、9月21日(火)に綿引町長から辞令が交付されました。任期は平成22年9月20日から平成26年9月19日までの4年間です。



## 消防操法大会

10月3日(日)に、第61回茨城県消防ポンプ操法競技大会県北地区大会が常陸大宮市のおおみや消防広場で開催されました。

大会は、大子町(第5分団選抜チーム)、常陸大宮市、常陸太田市、北茨城市、高萩市、日立市、ひたちなか市、東海村、那珂市の9市町村の代表チームが出場して、「ポンプ車操法の部」と「小型ポンプ操法の部」で放水操法競技が行われ、連日連夜練習を重ねてきた成果を発揮し、全力で競技を行う選手達に温かい声援が送られました。



### ◆ポンプ車操法の部 (第3位)

指揮者 守川 剛さん  
1番員 大森貴徳さん  
2番員 仲野博幸さん  
3番員 大森 崇さん  
4番員 石井崇博さん  
補助員 鈴木和則さん

### ◆小型ポンプ操法の部 (第4位)

指揮者 菊池克巳さん  
1番員 菊池雄一さん  
2番員 本多慎一さん  
3番員 嘉成智史さん  
補助員 椎名敏治さん



児童生徒が、本に親しみ、読書の楽しさ、すばらしさを体験し、読書の習慣化を図ることを目的として、読書感想文コンクールを実施しました。

審査の結果、入賞作品が次のとおり決定しました。

最優秀賞作品については、11月15日に開催する小中学生による読書集会において、発表を予定しています。

「読む・調べる」習慣の  
確立に向けて

賞	氏名	学校名	学年	感想文題名
1 最優秀賞	生井澤 杏	袋田小学校	6年	「風の又三郎」を読んで
2	荒 楨 朱 音	さはら小学校	2年	あったらいいな、まほうのぼうし
3	日 下 博 貴	生瀬中学校	1年	世界がもし100人の村だったら
4 優秀賞	木 村 朱 里	だいご小学校	2年	「ミリーのすてきなぼうし」を読んで
5	藤 田 結 音	〃	4年	命のバトンタッチを読んで
6	清 水 湧	〃	5年	人との出会い
7	星 祐 太	依上小学校	6年	自分らしく生きること
8	齋 藤 千 里	黒沢小学校	6年	「青いいのちの詩」を読んで
9	石 井 華 雅	上小川小学校	4年	「犬と私の10の約束」を読んで
10	石 井 琉 生	生瀬小学校	2年	むねとんとんをよんで
11	鈴 木 佳 太	大子中学校	2年	「風が強く吹いている」
12	大 高 詩 織	〃	3年	「余命一ヶ月の花嫁」を読んで
13	益 子 大 輝	大子西中学校	1年	「負けてたまるか!」を読んで
14	佐 藤 有 彩	黒沢中学校	3年	「みぼりんのえくぼ」を読んで
15	石 井 夏 海	南 中学校	3年	「サンダーレの夢」を読んで

■大子町児童生徒読書活動推進委員会 学校教育課内 ☎(79)0170

## 平成22年秋季火災予防運動 「消したかな」あなたを守る 合言葉

(平成22年度全国統一防火標語)

この運動は火災が発生しやすい時季を迎えるに当たり、火災予防思想の一層の普及を図り、もって火災の発生を防止し、高齢者等を中心とする死者の発生を減少させ、財産の損失を防ぐことを目的に11月9日(火)から15日(月)まで全国一斉に火災予防運動が実施されます。

日頃より火災への関心を高め、大子町一丸となって火災予防に努めましょう。

### 住宅防火 いのちを守る 7つのポイント ～3つの習慣・4つの対策～

#### 3つの習慣

- 寝たばこは、絶対やめる。
- ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ガスコンロなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

#### 4つの対策

- 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
- 寝具、衣類及びカーテン類は、防災製品を使用する。
- 火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する。
- お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制を作る。

10月31日 大子町消防団「秋季点検」団員収集

11月 9日 秋季全国火災予防運動

※午前7時にサイレンがなりますので火災と間違わないようご注意ください。

■問合せ 消防本部 ☎(72)0119



# 公的な身分証明書として利用できる 「住民基本台帳カード」(略称:住基カード) を作いませんか

## 来年3月まで無料で交付しています



### ■写真付き住基カード

- 高齢者の運転免許証返納後の公的な証明書として利用できます。申請には、本人確認書類が必要ですので、住基カードの交付手続き後に、運転免許証の自主返納をしてください。
- 金融機関や市町村の窓口をはじめ、様々な場面で公的な証明書として利用できます。

### ■交付申請手続き

- 写真付きと写真なしの2種類があり、写真付きを申請する方は、上半身、無帽、正面、無背景で6か月以内に撮影した縦45mm×横35mmの写真を持参してください。
- 交付手数料は500円ですが、平成23年3月まで無

料としています。

- 運転免許証、パスポートなど官公署が発行した写真付きの証明書など、本人確認のできる書類が必要です。

### ■注意すること

- 交付の際に4桁の暗証番号を設定していただきます。
- 有効期間は発行日から10年間ですが、他の市町村に転出する場合には住基カードは失効し、大子町に返納することになります。
- 住基カードを紛失した場合は、直ちに町へ届け出てください。

■問合せ 町民課町民グループ ☎(72)1112

## 茨城県北ジオパークだより①

県北地域  
振興の要



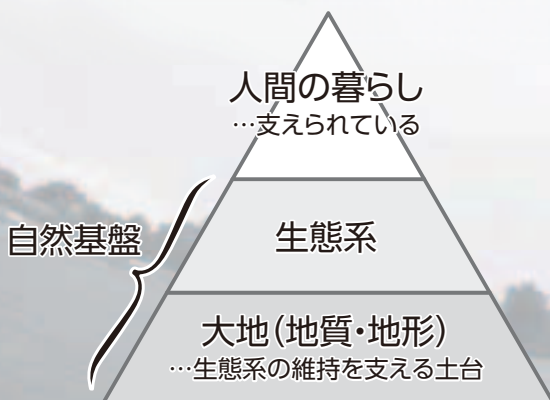
日本の他の地域同様、県北地域も人口の減少・地域産業の衰退・財政難・進まない再開発など沢山問題を抱えています。それを解決し、住みやすい豊かなふるさつをつくるさまざまな努力がなされています。しかし、なかなかうまくいかないのが現状です。このような中で、あらたな切り口の地域振興策のひとつが「ジオパーク」です。

ジオパークは、ユネスコの支援のもとにヨーロッパと中国を中心に世界的に展開している運動です。その目的は、科学的に貴重で美しい自然遺産を保全するとともに、歴史的・文化的なものも含めて、それらを観光資源として地域の経済、文化の活性化を図ることです。ジオパークを日本語におきかえれば「大地の公園」となります。日本では、すでに洞爺湖有珠山、糸魚川、島原半島が世界ジオパークに認定されています。それに続いて、この一年間にジオパーク設立をめざす地域がぞくぞくと出てきています。

県北地域は、大都市東京に比較的近く、5億年の歴史を秘めた大地の上に豊かな生態系があり、それらに支えられて独自の文化と歴史(人間の暮らし)がはぐくまれました。それは、古くは常陸国風土記にも記述されています。県北地域の自然基盤と文化・歴史は新しい観光開発を可能にする貴重な財産です。これら地域ならではの財産を活用したツアーがジオパークの主要な活動になります。

国内はもとより、外国のお客様もわたし達のふるさとにお招きし、ツアーでもてなすことにより、経済的な豊かさとともに、自分のふるさとに誇りがもてるようになれば素晴らしいことです。茨城大学は学術的側面から、みなさんの活動をバックアップします。皆で力を合わせて、「21世紀の常陸国風土記」を書こうではありませんか。

茨城県北ジオパーク運営委員長  
茨城大学教授 天野一男



# 子どもの事故防止を考えよう

「注意する」から  
「具体的にどうするか」へ

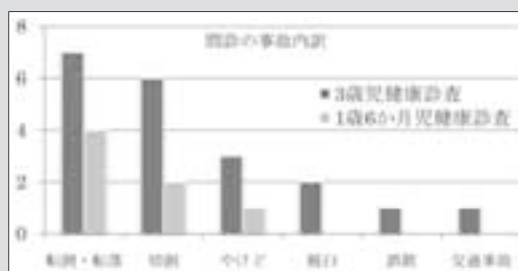


## 保健コーナー

子育てをしていて「ドキッ!」としたことはありませんか?統計によると過去50年間、1~9歳の子供の死亡原因のトップは常に「不慮の事故」です。様々な事故が起きている中、3歳児未満の事故の8割は、親がそばにいるときに、そしてその内の6割は親の目の前で起きています。事故は、親が十分注意していたとしても起きてしまうのが悲しい現状です。そのため、ただ「注意する」のではなく、「具体的にどうするか」を、お子さんの発達状況や家庭の状況を振り返り、家族でもう一度考えてみましょう。

### 子どもの事故は何が多いの?

平成19年人口動態統計によると不慮の事故による死亡原因は、0歳児では窒息、1~9歳では交通事故、溺死・溺水が大半を占めています。また、平成21年度の大子町の1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査時の問診では、共に転倒・転落、切創が事故の内容として多く見られました。



### どんな予防策があるの?

#### ●窒息

0歳児では布団、シーツ、枕、額に貼ったジェル状「冷却シート」が口や鼻をふさぐことによる窒息事故が起きています。吐いた物や食べ物をのどに詰まらせることも多く、ゴム風船などの異物を詰まらせて窒息することもあります。

#### — 具体的な予防策 —

- たとえ短時間であっても柔らかい布団やクッションに寝かせない。
- なるべくうつぶせ寝は避け、重い布団は顔まで被せない。
- ベッドや布団にひも、ビニール袋、タオル、ぬいぐるみは置かない。

#### ●溺死・溺水

お風呂場で遊んでいるうちに浴槽に落ちたり、親が洗髪中などで目を離れたすきに浴槽に落ち、溺れてしまうこともあります。また、小さな子どもは頭が重く、水深が10~20cm程度であっても、水の入ったバケツや洗面器に頭から落ちると元に戻ることはできず、溺れてしまいます。

#### — 具体的な予防策 —

- お風呂には子どもの手の届かないところに外鍵をかける。
- 危険がわかる年齢になるまでは、入浴後は浴槽の水を抜いておく。
- バケツや洗面器で水遊びをしているときは、子どもを1人にしない。

#### ●転倒・転落

寝返りしなくても足をバタバタさせて移動したり、寝返りだけで遠くまで移動したり、はいはいでも階段のぼれたり、子どもの行動範囲は広く、ベッドやソファ、階段、玄関などから転落する事故がよくあります。

#### — 具体的な予防策 —

- ベビーベッドの柵は必ず上げ、マットレスと柵の間には隙間がないことを確かめる。
- 階段には乳幼児用移動防止策を設け、掛金は乳幼児のいる側の反対側につけ、必ずかける。
- 踏み台になるようなものはベランダや階段近くには置かない。
- 短時間であっても、不安定な高い場所(洗濯機、洗面台、浴槽の蓋の上など)に子どもを寝かせない。
- 歯ブラシ、お箸、フォークなど、口に物をくわえて歩き回ることをしないよう指導する。

### 事故が起きたときのために

もし事故が起きてしまったら、まず気持ちを落ち着けて行動しましょう。そのためにも普段から準備と心構えが大切です。

- 事故が起きた場合の対処法をリサーチし、冊子などがあれば目に見える場所に置いておきましょう。
- 主治医や病院、緊急時の連絡先(主治医、夜間休日診療)などの電話番号は、いつでもわかるように電話の前に貼っておきましょう。
- 母子健康手帳、保険証、診察券などは、ひとまとめにしておきましょう。



2010

11

# カレンダー



## 霜月・November

日付	行 事 名	場 所	時 間	対 象 者	問 合 せ
1(月)					
2(火)	定期健康相談 消費者相談	(保) (企)	13:30~15:00 11:00~15:00	一般 一般	(健) (企)
3(水)	文化の日				
4(木)					
5(金)	「お知らせ版」11月5日号発行 巡回労働相談 就職支援出張相談	(公) (公)	10:00~14:30 10:00~15:00	一般 一般	(企) (企)
6(土)					
7(日)					
8(月)					
9(火)	定期健康相談 消費者相談	(保) (企)	13:30~15:00 11:00~15:00	一般 一般	(健) (企)
10(水)	心配ごと相談	(文)	13:00~15:00	一般	(協)
11(木)					
12(金)	就職支援出張相談	(公)	10:00~15:00	一般	(企)
13(土)					
14(日)					
15(月)					
16(火)	一日年金事務所(出張年金相談) 定期健康相談 消費者相談	(庁) (保) (企)	10:00~14:00 13:30~15:00 11:00~15:00	一般 一般 一般	(民) (健) (企)
17(水)	心配ごと相談	(文)	13:00~15:00	一般	(協)
18(木)	弁護士無料法律相談	(文)	10:00~12:00	要予約	(企)
19(金)	巡回労働相談 就職支援出張相談	(公) (公)	10:00~14:30 10:00~15:00	一般 一般	(企) (企)
20(土)					
21(日)					
22(月)	「広報だいご」12月号発行 こころの相談	(保)	13:00~16:00	要予約	(健)
23(火)	勤労感謝の日				
24(水)	心配ごと相談 飲用井戸水水質検査	(文) (保)	13:00~15:00 10:00~11:00	一般 一般	(協) (健)
25(木)					
26(金)	就職支援出張相談	(公)	10:00~15:00	一般	(企)
27(土)					
28(日)					
29(月)	献血(大子町役場)		10:00~15:30	一般	(健)
30(火)	定期健康相談 消費者相談	(保) (企)	13:30~15:00 11:00~15:00	一般 一般	(健) (企)

### 連絡先

(公)中央公民館 (72)1148  
 (リ)リフレッシュセンター (72)1149  
 (保)保健センター (72)6611  
 (庁)役場庁議室  
 (会)役場第1会議室  
 (分)役場第1分室会議室  
 (総)総務課 (72)1114  
 (企)企画観光課 (72)1138  
 (民)町民課 (72)1112  
 (福)福祉課 (72)1117  
 (健)健康増進課 (72)6611  
 (地)地域包括支援センター (72)1175  
 (涯)生涯学習課 (72)1148  
 (消)消防本部 (72)0119  
 (協)社会福祉協議会 (72)2005  
 (文)文化福祉会館 (72)2005

### 救急協力当番病院

月 日	病 院
10月18日(月)~24日(日)	慈泉堂病院
25日(月)~31日(日)	保内郷メディカルクリニック
11月 1日(月)~ 4日(木)	久保田病院
5日(金)~ 7日(日)	慈泉堂病院
8日(月)~14日(日)	久保田病院
15日(月)~21日(日)	慈泉堂病院

慈泉堂病院 ☎(72)1550  
 久保田病院 ☎(72)0023  
 保内郷メディカルクリニック ☎(72)0179

### 11月の納付のお知らせ 税務課☎(72)1116

★国民健康保険税 第5期分  
 ★介護保険料 第5期分  
 ★後期高齢者医療保険料 第5期分  
 納期限は、11月30日(火)です。

### 町の人口と世帯 平成22年 10月1日現在

★人 口 20,755人(-7/-305)  
 男 10,208人( 6/-147)  
 女 10,547人(-13/-157)  
 ★世帯数 7,786戸(-2/ 7)  
 (前月比/前年比)

主な行事等を掲載しましたが、日時等が変更になる場合もあります。

# フオトだいで



## まいんイロドリ計画」がキックオフ

大子町文化福祉会館まいんが開館して半年が経過しようとしています。

文化ホールでのコンサートや各種のイベント、また各種団体の会議や子育て支援センターなど、毎日たくさんの方が利用されていますが、まいんが皆さんにとって、更に身近な場所になることを目標とする「まいんイロドリ計画」がスタートしました。

「まいんイロドリ計画」は、町と筑波大学との連携協力事業の一環として展開され、案内や掲示板のデザインから、音楽・芸能イベントの構成と演出、気軽に利用できる休憩スペースの計画に至るまで、筑波大学の若手アーティストと町民が協力して彩っていく事業です。9月18日には、第1回の会合が行われ、一般公募で集まった皆さんをはじめ、清流高校生、筑波大学及びまいん関係者の24名が参加して自己紹介や計画の概要について話し合われました。

9月14日から18日にかけてはイロドリ計画のキックオフイベントとして、「ゴブリン博士のダイゴ布林マスキングイベント」が開催されました。今回、まいんに「いろどり」を施したのは「ゴブリン博士」として全国各地で活動している筑波大学大学院の小中大地さんです。期間中にはワークショップもあり、参加した皆さんは、次々とマスキングテープで愛らしいキャラクターを描いていき、みんなのキャンバスとなったまいんが「ダイゴ布林」でいっぱい埋め尽くされました。

彩

※『広報だいで』に掲載されている写真を希望の方は総務課 ☎(72)1114までご連絡ください。